

目次

はじめに 2

第1章 嘆きのもとにはわけがある

あなたの目の前にはどんな上司がいますか

9

10

第2章 静かな上司「無口すぎるのはなぜですか？」

15

① ほっこりおばあちゃんタイプ 「波風立てず平和が一番だから」

16

② 気難しいおじいちゃんタイプ 「一人でゆっくり考えたいから」

31

③ 気まぐれ末っ子タイプ 「私の気持ちを誰もわかってくれないから」

45

第3章 うるやい上司「自己主張しすぎなのはなぜですか？」

59

④ 昭和のお父さんタイプ 「私についてくれば間違いないから」

60

⑤ かつこいい長男タイプ 「他の人が遅く見えるから」

75

⑥ 天真爛漫やんちゃな末っ子タイプ 「どんどん新しいことをやりたいから」

90

第4章 いい人上司「いい人すぎるのはなぜですか？」

- ⑦ 面倒見のいいお母さんタイプ「私はいいの。あなたのためだから」
- ⑧ しっかりものの長女タイプ「世のため人のために私がしっかりしなければ」
- ⑨ 気遣いの次男次女タイプ「みんなの合意が一番だから」

136 121 106

105

おわりに

151